



## ニプロ株式会社が発行する 2026 年満期ユーロ円建転換社債型 新株予約権付社債(ソーシャル転換社債型新株予約権付社債)について

今般、みずほ証券株式会社(取締役社長:浜本 吉郎)は、ニプロ株式会社が発行する2026年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債(ソーシャル転換社債型新株予約権付社債)「以下、本ソーシャルCB」において単独ブックランナー兼ストラクチャリング・エージェントを務めましたので、お知らせいたします。

本ソーシャルCBは、国際資本市場協会(ICMA)が定めるソーシャルボンド原則の枠組みに準拠し、大手評価機関よりセカンドオピニオンを取得した本邦初のソーシャルCBとなります。

ニプロは『「真にグローバルな総合医療メーカー」として、「未来に向かって、世界の人々の健康を支え、医療ニーズに応える商品、技術及び事業の創造革新を行い、社会に貢献し、自己実現を図る」こと』を経営理念に掲げています。ニプロの事業は社会貢献を謳う経営理念のもとで行われ、それら事業は社会的課題の解決に資するものであり、その事業に要する資金を調達するためにソーシャルファイナンス・フレームワークを策定し、そのフレームワークにおけるソーシャルプロジェクトの資金として本ソーシャルCBを発行しました。本ソーシャルCBの発行により調達された資金は、主力製品であるダイアライザ(人工腎臓)生産増強のための設備投資資金に充当される予定です。

当社は、社会と〈みずほ〉の持続的な発展に向けて、金融機関として貢献すべき取り組みを積極的に推進しており、資本市場におけるSDGs債の専門的な情報収集・お客さまのSDGs債ストラクチャリングを支援するため、2017年にサステナブル・ファイナンス・デスク、2019年にサステナブル・ファイナンス室を設置しました。また、環境金融における専門性を高めるため、グリーンボンドの認証制度および気候変動対策投資を推進する国際NGOであるClimate Bonds Initiative<sup>※5</sup>とパートナー契約を締結しています。その後2021年から、これらの取り組みをさらに強化・拡大するため、サステナビリティ推進部を新設しています。

これらの取り組みにより、当社はサステナビリティボンド等の引受けなど、さまざまなお客さまのSDGs債の起債を支援し、ストラクチャリングなどを通してお客さまの社会貢献への取り組みを全面的に支援しています。

当社はグループの総合力を活用し、今後もお客さまの金融取引を通じた社会貢献への取り組みをサポートし、SDGs債をはじめとする債券の引受けを一層推進し、最良のサービスを提供してまいります。

以上